



安全安心な社会を創る建設技術を紹介します！

第29回 茨城会イブニングセミナー

主催：(公社)土木学会関東支部茨城会

土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。業務との関係を考慮しまして、仕事帰りに勉強できるよう、夕方 18:00 開会のイブニングセミナー形式を取っています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るための建設技術を多くの方々に知って頂きたい、参加費は無料とし（会場準備の関係上事前登録制）、技術者の継続学習への貢献を考え、希望者には土木学会 CPD 単位をお渡ししております。この度は下に示す講師による講演を企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加登録を頂ければと存じます。

○開催日時：2025年9月19日（金） 18:15～ 受付：18:00～

○場所：(一社)茨城県産業会館2階研修室（水戸市桜川2-2-35）

○プログラム：

18:15～ 開会

ごあいさつ（公社）土木学会関東支部茨城会 会長 小柳 武和（茨城大学名誉教授）

18:20～

演題：「幕末の測量術 ～小野友五郎の『量地図説』を読み解く～」

講演者：小野友五郎を伝えてゆく会 会長・日本数学史学会 会員・学校法人 大成学園 監事・茨城キリスト教大学 兼任講師 今泉 寛 氏

概要：『量地図説』は和算の関流長谷川門下の笠間藩士甲斐駒蔵と小野友五郎が著した測量術書である。本書が出版された当時は、ペリー来航直前で、海防への関心が高まるとともに経済政策の見直しも必須となり、沿岸測量や地方測量など測量術が注目を浴びていた。『量地図説』を読み解くことで、幕末を通じて定着した実学となり、今も生き続ける測量術や、鎖国という限られた世界の中で工夫する、という日本人らしい文化の結晶の一つとしての測量術を明らかにする。

19:45～（質疑応答含む）『意見交換会と今後の取り組みについて』

コーディネーター：土木学会 茨城会 調査研究部会副会長 澤島 守夫 氏

20:00 閉会

○参加費：無料（事前登録制、連絡先は下記）

○特典：希望者には土木学会 CPD 単位が発行されます（1.7 単位）

単位ご希望の方はセミナー開催当日申請方法をご案内いたします

○申込方法：下記ウェブページより参加登録をお願いいたします

<https://forms.gle/eYojqRLuqq6TjveWA>



○申込期限：2025年9月12日（金）

※定員に達し次第、締切とさせていただきます

※出席確認時の混乱を避けるため、おひとり様ずつのお申込みをお願いいたします

メールアドレスは重複しても構いません

※感染症の流行状況により、開催の延期もしくは中止のご案内をする場合がありますことをあらかじめご了承ください

○連絡先：〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1 茨城大学日立キャンパス

公益社団法人 土木学会関東支部茨城会事務局 担当：曾我部

E-mail：jsce.ibaraki@gmail.com